





表															(注)・記載事項について ●印のものを適用し、○印のものは適用しない。																																																																		
<p>○ボイラー</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>形式</th> <th>種別</th> <th>用途</th> <th>定格出力 (kW)</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>口温度 (°C)</th> <th>燃料</th> <th>燃料消費量</th> <th>燃焼制御方式</th> <th>電圧</th> <th>最大使用電流</th> <th>台数</th> <th>系統</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 構造は (○立形 ○吊掛型 ○直流)</li> <li>2. 都市ガスの発熱量は <math>M^3/m^3</math> (0) とし、供給圧力は Pa とする。</li> <li>3. ばい煙濃度計の電源用端子 (二次側) を (○付ける ○取けない)</li> <li>4. 燃焼制御装置は付属とする。</li> <li>5. 運転時間計 (○不要 ○要)</li> <li>6. 燃焼表示用端子 (○不要 ○要)</li> <li>7. 燃焼表示用端子 (○不要 ○要)</li> <li>8. 燃焼表示用端子 (○不要 ○要)</li> <li>9. 燃焼表示用端子 (○不要 ○要)</li> <li>10. 燃焼表示用端子 (○不要 ○要)</li> <li>11. 給水軟化装置 (○不要 ○要)</li> <li>12. 燃料消費量は、低位発熱量とする。</li> </ol>															記号	形式	種別	用途	定格出力 (kW)	最高使用圧力 (MPa)	口温度 (°C)	燃料	燃料消費量	燃焼制御方式	電圧	最大使用電流	台数	系統	備考	B	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<p>○ルームエアコン</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>設置形式</th> <th>冷房能力 (kW)</th> <th>暖房能力 (kW)</th> <th>電圧</th> <th>消費電力 (kW)</th> <th>最大使用電流</th> <th>冷房管長さ (約 m)</th> <th>台数</th> <th>系統</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AP</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 冷房能力は JIS B 8818 による。</li> <li>2. 冷房能力は、冷媒充填量 (ガス) は製造者の標準仕様とする。</li> <li>3. 冷房能力は、冷媒充填量 (ガス) は製造者の標準仕様とする。</li> <li>4. 冷房能力は、冷媒充填量 (ガス) は製造者の標準仕様とする。</li> <li>5. 冷房能力は、冷媒充填量 (ガス) は製造者の標準仕様とする。</li> <li>6. リモートコントローラー (ワイヤレス) は付属とする。</li> <li>7. リモートコントローラー (ワイヤレス) は付属とする。</li> <li>8. リモートコントローラー (ワイヤレス) は付属とする。</li> <li>9. リモートコントローラー (ワイヤレス) は付属とする。</li> <li>10. リモートコントローラー (ワイヤレス) は付属とする。</li> <li>11. 冷房能力 28kW 以下の機種もフィンガードを標準とする。</li> </ol>															記号	設置形式	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	電圧	消費電力 (kW)	最大使用電流	冷房管長さ (約 m)	台数	系統	備考	AP	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
記号	形式	種別	用途	定格出力 (kW)	最高使用圧力 (MPa)	口温度 (°C)	燃料	燃料消費量	燃焼制御方式	電圧	最大使用電流	台数	系統	備考																																																																			
B	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																			
記号	設置形式	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	電圧	消費電力 (kW)	最大使用電流	冷房管長さ (約 m)	台数	系統	備考																																																																							
AP	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																							
<p>○吸気冷凍水機</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>形式</th> <th>冷房能力 (kW)</th> <th>加熱能力 (kW)</th> <th>COP</th> <th>ILV (冷房時) (°C)</th> <th>ILV (加熱時) (°C)</th> <th>入口 (°C)</th> <th>出口 (°C)</th> <th>入口 (°C)</th> <th>出口 (°C)</th> <th>冷却水量 (L/min)</th> <th>損失水頭</th> <th>電圧</th> <th>消費電力 (kW)</th> <th>最大使用電流</th> <th>台数</th> <th>系統</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本機は、(○標準型 ○省スペース型) とする。</li> <li>2. 本機は、(○標準型 ○省スペース型) とする。</li> <li>3. 冷水・温水の吐出し (○標準型 ○省スペース型) とする。</li> <li>4. 冷媒の充填量は、(○標準型 ○省スペース型) とする。</li> <li>5. 基礎は標準基礎とする。</li> <li>6. ばい煙濃度計の電源用端子 (二次側) を (○付ける ○取けない)</li> <li>7. 運転時間計 (○不要 ○要)</li> <li>8. 運転時間表示用端子 (○不要 ○要)</li> <li>9. 温水熱交換器付の場合、温水熱交換器の水側に逆し弁を付ける。</li> <li>10. 冷却水流量表示用 (○する ○しない)、冷水流量表示用 (○する ○しない)</li> <li>11. オン・オフ、ハイ・ローの制御方式で加熱能力/冷房能力が 2.0/0.9 の場合は、冷房時に加熱能力が過大とならないよう、冷房能力に応じた燃料制御装置を付ける。</li> <li>12. 燃焼制御装置は、冷水制御装置 (○標準型 ○省スペース型) とする。</li> <li>13. 燃焼制御装置は、冷水制御装置 (○標準型 ○省スペース型) とする。</li> <li>14. 燃焼制御装置は、冷水制御装置 (○標準型 ○省スペース型) とする。</li> <li>15. 燃焼制御装置は、冷水制御装置 (○標準型 ○省スペース型) とする。</li> <li>16. 冷水出入口温度用 (○する ○しない)</li> <li>17. 燃料消費量表示用 (○標準型 ○省スペース型) とする。</li> <li>18. COP: 成績係数 (IF: 1.0) 未満の場合は、IF: 1.0 未満とする。</li> <li>19. COP: 成績係数 (IF: 1.0) 未満の場合は、IF: 1.0 未満とする。</li> <li>20. 冷水・温水の同時取り出し (○標準型 ○省スペース型) とする。</li> <li>21. 冷水ポンプを組込 (○標準型 ○省スペース型) とする。</li> </ol>															記号	形式	冷房能力 (kW)	加熱能力 (kW)	COP	ILV (冷房時) (°C)	ILV (加熱時) (°C)	入口 (°C)	出口 (°C)	入口 (°C)	出口 (°C)	冷却水量 (L/min)	損失水頭	電圧	消費電力 (kW)	最大使用電流	台数	系統	備考	R	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																													
記号	形式	冷房能力 (kW)	加熱能力 (kW)	COP	ILV (冷房時) (°C)	ILV (加熱時) (°C)	入口 (°C)	出口 (°C)	入口 (°C)	出口 (°C)	冷却水量 (L/min)	損失水頭	電圧	消費電力 (kW)	最大使用電流	台数	系統	備考																																																															
R	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																															
<p>○冷却塔</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>形式</th> <th>設置形式</th> <th>送風形式</th> <th>冷房能力 (kW)</th> <th>暖房能力 (kW)</th> <th>送風機</th> <th>送風機</th> <th>電圧</th> <th>消費電力 (kW)</th> <th>最大使用電流</th> <th>補助加熱器</th> <th>台数</th> <th>系統</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AC</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 冷水入口温度 °C、冷水出口温度 °C、温水入口温度 °C、高気圧 MPa (0)</li> <li>2. 風量調整機構は、(○手動 (温度指示付) ○インバーターインバーター制御用) は製造者の標準仕様とする。</li> <li>3. ケーシング内には、(○標準型 ○省スペース型) とする。</li> <li>4. メインフィルタは、(○標準型 ○省スペース型) とする。</li> <li>5. フィルタはプレフィルタ (標準型) を (○標準型 ○省スペース型) とする。</li> <li>6. 差圧計は (○標準型 ○省スペース型) とする。</li> <li>7. ドレンパン接続アダプターの材質は、銅製とする。</li> <li>8. 基礎は (○標準型 ○省スペース型) とする。</li> <li>9. 大気温度差は 2.0°C (○標準型 ○省スペース型) とする。</li> <li>10. ミキシングチャンセルは、(○標準型 ○省スペース型) とする。</li> <li>11. 高気圧対策として、直流リアクトル等により「高気圧又は特別高気圧で受電する需要家の高気圧対策ガイドライン (資源エネルギー庁) 及び「高気圧対策ガイドライン (資源エネルギー庁) 及び「高気圧対策ガイドライン (資源エネルギー庁) による換算係数 <math>K=1.8</math> 以下とする。</li> <li>12. インバータ制御時の専用電源バス回路 (○標準型 ○省スペース型) とする。</li> <li>13. 換入可能質量 <math>x \times x \times H \text{ kg}</math></li> </ol>															記号	形式	設置形式	送風形式	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	送風機	送風機	電圧	消費電力 (kW)	最大使用電流	補助加熱器	台数	系統	備考	AC	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																																					
記号	形式	設置形式	送風形式	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	送風機	送風機	電圧	消費電力 (kW)	最大使用電流	補助加熱器	台数	系統	備考																																																																			
AC	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																			
<p>○パッケージ型空気清浄機</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>形式</th> <th>設置形式</th> <th>送風形式</th> <th>冷房能力 (kW)</th> <th>暖房能力 (kW)</th> <th>送風機</th> <th>送風機</th> <th>電圧</th> <th>消費電力 (kW)</th> <th>最大使用電流</th> <th>補助加熱器</th> <th>台数</th> <th>系統</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MP</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 暖房能力には補助加熱器の加熱能力を加算する。</li> <li>2. 圧縮機は (○室内形 ○室外形) とする。</li> <li>3. 冷房能力及び暖房能力は、(○標準型 ○省スペース型) とする。</li> <li>4. 冷媒はオゾン層破壊係数が 0.1 以下のものとする。ただし、外気処理ユニットの場合、R407A4 による。</li> <li>5. 電気ヒーター及び補助加熱器は、送風機とインバータを併用する。</li> <li>6. 屋外、屋外ユニットは、(○標準型 ○省スペース型) の標準仕様とする。</li> <li>7. 冷房配管の口径は製造者の標準仕様とする。部分接続は付属とする。</li> <li>8. 運転時間計 (○標準型 ○省スペース型) とする。</li> <li>9. 運転時間表示用端子 (○標準型 ○省スペース型) とする。</li> <li>10. 遠方発着用端子 (○標準型 ○省スペース型) とする。</li> <li>11. 屋外ユニットの基礎は (○標準型 ○省スペース型) とする。ただし圧縮機外形は不要とする。</li> <li>12. 屋外ユニットの基礎は (○標準型 ○省スペース型) とする。</li> <li>13. リモートコントローラー (ワイヤレス) は付属とする。</li> <li>14. フィンガードは付属とする。</li> <li>15. 高気圧対策として、直流リアクトル等により「高気圧又は特別高気圧で受電する需要家の高気圧対策ガイドライン (資源エネルギー庁) 及び「高気圧対策ガイドライン (資源エネルギー庁) による換算係数 <math>K=1.8</math> 以下とする。</li> </ol>															記号	形式	設置形式	送風形式	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	送風機	送風機	電圧	消費電力 (kW)	最大使用電流	補助加熱器	台数	系統	備考	MP	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																																					
記号	形式	設置形式	送風形式	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	送風機	送風機	電圧	消費電力 (kW)	最大使用電流	補助加熱器	台数	系統	備考																																																																			
MP	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																			
<p>○ファンコイルユニット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>形式</th> <th>冷房能力 (kW)</th> <th>暖房能力 (kW)</th> <th>電圧</th> <th>消費電力 (kW)</th> <th>最大使用電流</th> <th>冷房管長さ (約 m)</th> <th>台数</th> <th>系統</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FU</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 冷水入口温度 °C、冷水出口温度 °C、温水入口温度 °C</li> <li>2. 屋外形の場合は、(○標準型 ○省スペース型) とする。</li> <li>3. 屋外形の吐出口 (天吊形は吐出口) は、(○標準型 ○省スペース型) とする。</li> <li>4. カセット形の吐出口は (○標準型 ○省スペース型) とする。</li> <li>5. 屋外形のエアフィルタは (○標準型 ○省スペース型) とする。</li> <li>6. (○標準型 ○省スペース型) とする。</li> <li>7. 天井吊形及びカセット形の吐出口は、(○標準型 ○省スペース型) とする。</li> </ol>															記号	形式	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	電圧	消費電力 (kW)	最大使用電流	冷房管長さ (約 m)	台数	系統	備考	FU	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																																													
記号	形式	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	電圧	消費電力 (kW)	最大使用電流	冷房管長さ (約 m)	台数	系統	備考																																																																							
FU	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—																																																																							

品名	記号	仕様	電源		消費電力		電動機出力		台数	系統	備考
			相	V	種	kW	kVA	kW			
○ 温水ポンプ		口径 mmφ L/min m									1. 基礎は(○標準基礎 ○防振基礎)とする。 2. 押込圧力 mとする。 3. 電動機はインバーター対応と(○する ○しない) 4. フート弁(○要 ○不要) 口径( ) mmφ 5. 口径は、参考とする。
○ 冷却水ポンプ	POD	口径 mmφ L/min m									1. 基礎は(○標準基礎 ○防振基礎)とする。 2. 押込圧力 mとする。 3. 電動機はインバーター対応と(○する ○しない) 4. フート弁(○要 ○不要) 口径( ) mmφ 5. 口径は、参考とする。
○ 給水用ポンプ	PI	口径 mmφ L/min m									1. 基礎は(○標準基礎 ○防振基礎)とする。 2. 押込圧力 mとする。 3. 電動機はインバーター対応と(○する ○しない) 4. フート弁(○要 ○不要) 口径( ) mmφ 5. 口径は、参考とする。
○ 給湯用循環ポンプ	PI	口径 mmφ L/min m									1. 口径は、参考とする。
○ 真空給水ポンプユニット	PV	口径 mmφ L/min m									1. 電動機はインバーター対応と(○する ○しない) 2. 方式(○ポンプ式 ○エゼクター方式) 3. 基礎は(○標準基礎 ○防振基礎)とする。 4. 口径は、参考とする。
○ オイルポンプ	PO	口径 mmφ L/min kPa									1. 基礎は(○標準基礎 ○防振基礎)とする。 2. 口径は、参考とする。 3. 電動機はインバーター対応と(○する ○しない) 4. フート弁(○要 ○不要) 口径( ) mmφ 5. 口径は、参考とする。
○ 給水ポンプ	PI	口径 mmφ L/min m									1. 基礎は(○標準基礎 ○防振基礎)とする。 2. 押込圧力 mとする。 3. 電動機はインバーター対応と(○する ○しない) 4. フート弁(○要 ○不要) 口径( ) mmφ 5. 口径は、参考とする。
○ 高圧加圧ポンプユニット	PI	口径 mmφ L/min m									1. 制御方式(○制御盤内設置 ○制御盤外設置) 2. 運転方式(○連続運転 ○停止・並列運転 ○少水量停止時にポンプ自動切替 ○ローテーション機能)
○ 消火ポンプユニット	PFU	口径 mmφ m									1. フート弁(○要 ○不要) 口径( ) mmφ 2. 基礎は標準基礎とする。 3. 制御盤は付属とし、フリッカーリレー(24V)を備える。 4. 貯水タンクは、ステンレス製とする。
○ 給水用中モーターポンプ		口径 mmφ L/min m									1. 形式(○形 ○形) 2. 運転方式(○連続 ○並列 ○交互) 3. ケーブル長さ(m) 4. 電動機はインバーター対応と(○する ○しない) 5. 口径は、参考とする。

品名	記号	仕様	電源		消費電力		電動機出力		台数	系統	備考
			相	V	種	kW	kVA	kW			
○ 貯湯式電気温水器	WE	容量 L 電気容量 相 V kW									1. 容量は25℃上昇の出湯量(L/min)を示す。 2. オープンローを設ける場合は防振(約 m)を附属とする。 3. 制御タイマーは、下部には、排水ポンプを附属とする。 4. 制御タイマーは、下部には、排水ポンプを附属とする。 5. 給湯温度は、70℃とする。
○ ヒートポンプ	HP	容量 L 電気容量 相 V kW									1. 容量は25℃上昇の出湯量(L/min)を示す。 2. オープンローを設ける場合は防振(約 m)を附属とする。 3. 制御タイマーは、下部には、排水ポンプを附属とする。 4. 制御タイマーは、下部には、排水ポンプを附属とする。 5. 給湯温度は、70℃とする。

工 事 名 (設計者等 示欄)*		図 面 番 号
機 器 表 - 2		
担 当 部 局 名		

\* 設計者 示欄は建築士法に基づき、建築士等がその業務に必要な表示行為を行う場合等に作成する。